



Rotary  
Tsuruoka West



国際ロータリー第2800地区

鶴岡西ロータリークラブ

地区方針 **「4つのテスト」を実践し ロータリーの価値をたかめよう!**

第2560回例会 2021年4月12日(月) 会場: グランドエルサン

◆会長 佐藤一嘉 ◆幹事 辻博智

## 会長挨拶 佐藤 一嘉



庄内のある病院院長が、「私は、酒が大好きで、塩を肴に酒を飲むのが一番美味しいと思う。実はこの飲み方は戦国時代から登場していたらしい。

その理由の一つに、日本酒は味を構成する『甘味・酸味・苦味・旨味・塩味』の5種類のうち、塩味を除く4種類で構成されるため、塩を肴にすると5味全てがそろうからだといわれている。塩には甘味や旨味を引き立てるという役割もあるのだそうだ。日本酒以外でもカクテルなどでグラスの縁に付いている塩と一緒に飲む。メキシコのテキーラ、ライムを口へ絞りながら、塩を舐めてショットグラスで流し込む。が塩で引き出される旨味は日本酒に到底及ばない。

## 全く物欲を離れさらに我慢なし

まったくぶつよくをはなれさらにがまんなし

この格言は、物質的および精神的欲望を克服することの重要性を述べたものです。

ここにいう「物欲」とは、いわゆる欲望のことです。

私たちは、自己を保存し発達させようとする生理的、社会的、精神的欲求をもっています。この欲求そのものは善でも悪でもありません。しかし、この欲求が生存、発達に必要な程度を超えて自己中心的にはたらくとき、それを欲望といいます。

私たちが病気になるのも、欲望がその原因となっている場合があります。たとえば生理的欲求の一つである食欲を考えてみても、これが過度にはたらいて暴飲暴食をすると、健康を害する結果となります。また最近では、心身症や神経症などの心の病気が多くなっています。

これらはいわゆるストレス（精神的抑圧）が主要な原因で、我慢や強情、負け惜しみなどの心が強いほどストレス状態に陥りやすいのです。物質的欲求は一般にもよいことと考えられていませんが、忍耐、我慢負け惜しみなどの精神的欲求は容認される傾向があります。ことに我慢や忍耐は、「あの人は我慢強い人だ、忍耐強い人だ」といわれるように、道徳的によいことと考えられています。しかしその場合、心の中に潜む利己心は問題にされていないのです。欲望は、自己中心的にはたらく利己心の表われですから、欲望の強い人は物事を公平に判断できず、相手の立場を考えることも、相手の心を理解することもできないのです。これでは、円滑な人間関係を築くための思いやりの心や反省の心は生まれてきません。

その結果、自他の幸福を実現できず、社会に対立と混乱を引き起こすことにもなります。現代は欲望が解放された時代であり、物質主義、享楽主義をはじめ、その他さまざまな主義が蔓延しています。その中で私たちは、人生の正しい基準を見失い、欲望の充足を当然のことと考えて生活しています。しかし、私たちが心身を健全に保ち、一人ひとりの人間性が真に尊重される豊かな社会をつくりあげていくためには、欲望を克服して、生理的にも心理的にも自然の法則に適った生き方をすることが大切です。

私たちは、日々の生活の中で、他人を愛する心、感謝する心、反省する心の高揚に努めなければならないのです。

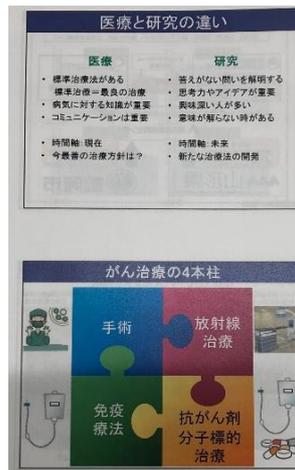
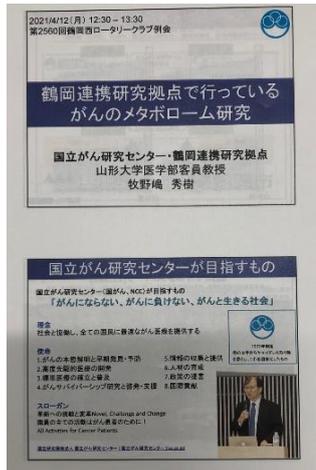
**幹事報告(代理) 池田 拓弥君**



・今回の幹事報告はありません

**ゲストスピーチ**

国立研究開発法人 国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点  
がんメタボロミクス研究室 チームリーダー  
牧野嶋 秀樹 様



**ニコニコBOX**

- ・阿部 悦子 君 牧野嶋先生、本日はありがとうございました。我が家もガン系統の家系なので日頃より検診を受け食生活も見直したと思います。
- ・菅井 保彦 君 牧野嶋先生、ご講義ありがとうございました。

本日の出席	会員数	28名	出席数	19名	出席数	70.37%
前々回の出席	出席率	75.00%	修正出席者数	22名	修正出席者数	78.57%